

2003
9

■編集 西区役所総務企画課広聴係
〒063-8612 西区琴似2条7丁目1-1
TEL 641-2400 内線224~226
FAX 612-5264

○西区広報番組「西区情報プラザ」
FMラジオ三角山放送局76.2MHz
毎週月曜日午前11時~

○西区ホームページ
<http://www.city.sapporo.jp/nishi/>



佐藤浩さんが自分史に出会ったのは、平成六年十月。自分史の草分けで大阪在住の福山琢磨氏から、北海道で自分史の活動を始めないかと声を掛けられたのがきっかけです。もともと自分史を書くつもりはなかった佐藤さんですが、気持ちを変えたのは、自分史を書くことが家族とのコミュニケーションに結び付くと気付いたからです。二十年以上ボランティアとして高校の新聞制作指導を行ってきた佐藤さんは、多くの生徒とふれあう中で、家族の絆が希薄化し



北海道自分史友の会事務局長
北海道自分史センター事務局長

まちの人

自分史とは自分が生きた証であり時代の証言なんです。

「自分史を書くこと、人は変わります。実に堂々として自信にあふれてきます」。それは、自分史を書くことをきっかけに自分の過去と向き合い、自

ていることを強く感じていました。

そこで、佐藤さんは、賛同して集まったメンバーらとともに翌年五月に北海道自分史友の会を設立。十三年四月には、自身が経営する印刷会社の社屋二階を改装して、全国の自分史約千二百冊を収める自分史センターをオープンしました。

分自身を見いだすからと言います。「高齢者が自分に自信を持ち、一家の精神的な支柱となることは、若い人にとっても必要なこと」と語ります。自身の自分史は「まだ執筆中と言う佐藤さん。「自分史を書くには他の人の自分史を読むのが一番。ぜひ一度自分史センターを利用して、下さい」とにこやかな笑顔で話してくれました。



▲佐藤さんが講師を務めた西区民センターでのセミナー

さとう ひろし 佐藤 浩さん (74)

■北海道自分史センター 西区発寒1条4丁目
TEL 666-4040
利用時間：午前10時~午後5時(土・日・祝日閉館)
閲覧無料。自分史の相談には事前の予約が必要です。